

(単位:千円)

事業名	有害鳥獣対策事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳									
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源					
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	—		13, 675		4, 815		229	8, 631					
						特 定 財 源 の 内 訳									
						府	緑の公共事業補助金			3, 635					
目 的 ・ 目 標	被害が引き続き発生している農林産物への食害、集落・住宅地等での出沒による人畜への被害防止を図るため、個体数の調整（捕獲・駆除対策）、防護柵の設置（防除対策）、誘引残さの除去等（生息環境管理対策）を、地域・猟友会・行政が一体となって総合的かつ効果的な対策を講じるもの				（参考）前年度予算額	府	広域有害鳥獣捕獲事業委託金			743					
						府	市町村事務委任交付金			437					
						諸	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策費補助金			229					
事業概要	■有害鳥獣の駆除 6, 539千円 ・有害鳥獣の捕獲駆除を京都府猟友会宮津支部猟友会に委託 ・20kg以上鳥獣の処分方法の変更(集落での埋設から、解体・焼却処分に変更) 駆除委託料 5, 900千円（解体処分費、緊急捕獲対応を含む。） 保管冷蔵庫、運搬ケースの整備等 639千円 ■ニホンジカ対策の強化 1, 526千円 南部地域で被害が拡大するニホンジカ駆除を強化 ○有害鳥獣広域捕獲の実施 843千円 ・与謝野町及び与謝郡猟友会と共同で広域捕獲を実施(35人/回・2回実施) ○シカ捕獲強化事業 683千円 ・狩猟期（11/15～3/15）における捕獲に対する報償金の支給 対 象 4頭目から10頭目までの捕獲獣 報償金 6, 500円/頭（府費4, 000円/頭に、市費2, 500円/頭を上乗せ） ■ニホンザル対策の強化 2, 499千円 ○個体数調整 781千円 北部地域で被害が拡大するニホンザル（宮津A群）の捕獲駆除を伊根町と共同で実施（計画：150頭→50頭に） ○鳥獣被害対策実施隊の設置 1, 718千円 市長が任命する実施隊を新たに設置し、定期的パトロールを実施し、駆除や追い払い等を行う。 ■その他 3, 111千円 有害鳥獣捕獲檻監視装置通信料 ほか ※宮津市鳥獣被害対策運営協議会との連携事業 ・ニホンザル用大型捕獲檻整備等 2, 311千円 ・防護柵整備 32, 139千円（奥波見地区ほか18地区、延長≒34. 6km）				背 景 ・ 経 緯	有害鳥獣被害により、農業者の営農意欲の低下や荒廃農地の増加等につながることを懸念される中、総合的な被害防止対策を講じるとともに、集落の負担軽減が急務となっている。									
						期待される 効果	集落における処理負担と被害の軽減が図られる。								
					【みやづビジョン2011以外の計画】										
					H22 年度策定						宮津市鳥獣被害防止計画			計 画 期 間	25 年度まで
					H25 年度策定						宮津市緊急捕獲等計画				27 年度まで
					年度策定										年度まで
					【市民参加の状況】										
					農家組合（農家）と猟友会、行政が役割分担しながら、連携して取り組むもの										
					【先進性】										
					担当室・係		産業振興室 農林水産係		TEL	45-1626					

平成26年度当初予算 事業等説明資料

事業名	みやづ環の地域づくり推進事業			継続	予算額	財源内訳 <table border="1"> <thead> <tr> <th>国庫支出金</th><th>府支出金</th><th>市債</th><th>その他</th><th>一般財源</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>700</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="5">特定財源の内訳</td></tr> <tr> <td>繰入</td><td colspan="3">自然環境保全基金繰入金</td><td>700</td></tr> </tbody> </table>					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源				700		特定財源の内訳					繰入	自然環境保全基金繰入金			700
国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																										
			700																											
特定財源の内訳																														
繰入	自然環境保全基金繰入金			700																										
ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン重点戦略	—		700																									
目的・目標	第２期宮津市地球温暖化防止計画「みやづ環の地域づくり行動計画」に基づき、市民協働による環境面からの「住んでよしの宮津」の実現に向け、化石資源に頼らない魅力的なまちづくりを推進し、地球温暖化防止に資する。 ※目標　平成32年度ＣＯ ₂ 排出量→平成２年度比△25％				(参考)前年度予算額																									
					600																									
事業概要	地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく本市の地球温暖化対策地域協議会に位置付けられた「みやづ環の地域づくり推進ネットワーク」の活動を支援 (ネットワークは３つの部会でテーマ毎に事業を企画・立案・実施) ■宮津市地球温暖化防止計画推進事業補助金 【内容】 環境学習・環境情報発信部会…里山再生、機関紙発行ほか 循環型エネルギー社会推進部会…市民ファンドの構築ほか Ｅライフスタイル推進部会…地産地消、省エネライフの推進ほか ○各部会の動き <pre> graph TD A[循環型エネルギー社会研究部会] <--> 情報共有・協力 B[環境学習・環境情報発信部会] B <--> 情報共有・協力 C[Eライフスタイル推進部会] B -- "情報発信" --> D[市民等] </pre> 循環型エネルギー社会研究部会 循環型エネルギー(太陽光、太陽熱、小水力、風力、バイオマス等)を市内でどう使っていくかについて研究、実践を行う。 【H25事業】 ・市民ファンドの仕組みづくり ①太陽光発電と市民ファンドに係る勉強会 ②先進地視察 環境学習・環境情報発信部会 環境学習や情報誌・機関紙の発行等により情報発信やセミナー、普及活動の企画実践を行うとともに、各部会で発信したい内容をコーディネートする。 【H25事業】 ・里山勉強会 ・藻谷浩介氏講演会 ・機関紙発行 Eライフスタイル推進部会 暮らしの中の環境対策に係る気付きを提供。自立循環型の地域社会を目指した宮津らしいライフスタイル(みやづスタイル)を考え、提案していく。 【H25事業】 ・生ごみたい肥の活用を含めた地産地消の取組 ・省エネコンテスト				背景・経緯	地球温暖化対策の推進に関する法律において、地方公共団体は温室効果ガス排出抑制のための総合的かつ計画的な施策を策定し、実施に努めることとされている。 ・第２期宮津市地球温暖化防止計画「みやづ環の地域づくり行動計画」(H25～H32) ・H25.8.8 第２期宮津市地球温暖化防止計画推進組織「みやづ環の地域づくり推進ネットワーク」設立																								
					期待される効果	・エネルギーの地産地消による足腰の強い社会の形成 ・地域の中で生み出されたものを地域内で循環活用する、人も自然も一つの環でつながった心の豊かさを感じられる暮らしを実現 ・社会的な責任(行動)を一人一人が担う地域社会の創出 ・小さな経済を回し地域活性化に寄与																								
					【みやづビジョン2011以外の計画】																									
					H24 年度策定	みやづ環の地域づくり行動計画				計画期間	32 年度まで																			
					年度策定						年度まで																			
					年度策定						年度まで																			
					【市民参加の状況】																									
					・みやづ環の地域づくり推進ネットワークへの参加(H25～) 会員数：35会員(個人：18人、事業者・団体：17組織)																									
【先進性】																														
・第２期計画としては、府下では京都市、八幡市に次いで３市目 ・小規模市町村では努力規定(温対法第20条の３)																														
担当室・係	自立循環型经济社会推進室 環境政策係 TEL 45-1609																													

(単位:千円)

事業名	新エネルギー普及促進事業			継続	予 算 額		財 源 内 訳													
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上		ビジョン 重点戦略	—	3,000	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源										
								3,000												
						特 定 財 源 の 内 訳														
						市債	過疎対策事業債（ソフト分）			3,000										
目 的 目 標	エネルギーの地産地消による低炭素型社会の構築と地域活性化を目的として、住宅用太陽光発電システムの導入支援を行う。				（参考）前年度予算額															
事業概要	■住宅用太陽光発電システム設置費補助金				背 景 ・ 経 緯	再生可能エネルギーの固定価格買取制度が平成24年 7 月にスタートしたが、本市は、太平洋側に比べ日照時間が短く設備投資の回収に年月を要するなど不利な地理的条件下にある。														
	○補助対象者は次の要件のいずれにも該当する者 ・宮津市に住所を有し、自らが居住する住宅に新たに市の定めた基準を満たす住宅用太陽光発電システムを設置した者又はそのシステムが設置されている建売住宅を購入した者 ・市町村税を滞納していない者 ○補助金の額 ・太陽光発電システムを構成する太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値(単位 kW)に次の額を乗じて得た額					期待される 効果	・温暖化対策(化石燃料由来のエネルギーの削減) 4 kwのシステム：約1.7 t-CO ₂ /年削減 ・省エネ(電力使用量削減)													
	<table><tr><td></td><td>補助金額</td><td>補助金の限度額</td></tr><tr><td>市内事業者と契約を締結し施工</td><td>5 万円</td><td>20万円</td></tr><tr><td>上記以外</td><td>3 万円</td><td>12万円</td></tr></table>						補助金額	補助金の限度額	市内事業者と契約を締結し施工	5 万円	20万円	上記以外	3 万円	12万円						
		補助金額	補助金の限度額																	
	市内事業者と契約を締結し施工	5 万円	20万円																	
	上記以外	3 万円	12万円																	
	【参考】 H25年度交付実績(H26. 1 月末現在)				【みやづビジョン2011以外の計画】															
	<table><tr><td></td><td>交付件数</td><td>補助金の交付額</td></tr><tr><td>市内事業者と契約を締結し施工</td><td>4 件</td><td>792,000円</td></tr><tr><td>上記以外</td><td>10件</td><td>1,144,000円</td></tr></table>					交付件数	補助金の交付額	市内事業者と契約を締結し施工	4 件	792,000円	上記以外	10件	1,144,000円	H19 年度策定		宮津市地域新エネルギービジョン			計 画 期 間	32 年度まで
		交付件数	補助金の交付額																	
	市内事業者と契約を締結し施工	4 件	792,000円																	
上記以外	10件	1,144,000円																		
H22 年度策定		クリーンエネルギー利活用調査			年度まで															
H24 年度策定		みやづ環の地域づくり行動計画 (第 2 期宮津市地球温暖化防止計画)			計 画 期 間	32 年度まで														
【先進性】																				
担当室・係		自立循環型経済社会推進室 産業創出係 TEL 45-1608																		

(単位:千円)

事業名	街路灯等ＬＥＤ化事業			新規	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—		10,400				7,532	2,868
目 的 ・ 目 標	街路灯等をＬＥＤ照明にリプレイス等を行うことで、地球温暖化の防止と地域経済の活性化に資する。				(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
						分負	ＬＥＤ防犯灯導入事業自治会分担金			7,532
事業概要	■市内全域におけるＬＥＤ街路灯等導入促進事業の完了に伴い、10年間のリース契約による平成26年度リース料金 ○リース料金(維持管理費含む) 年間リース料金：100,674千円/10年＝約10,068千円 <参考> ※10年間（H25～H35）のリース料金：100,674千円 ・リプレイス対象街路灯リース料金：96,690千円 ・新設防犯灯リース料金：3,984千円 <街路灯等のＬＥＤ照明へのリプレイス及び新設基数> ・リプレイス対象街路灯：3,875基 宮津市管理：防犯灯80基、道路灯30基、公園灯120基 自治会管理：防犯灯3,645基 ・新設防犯灯：82基 宮津市新設： 5基 自治会新設：77基				背 景 ・ 経 緯	・平成22年度 宮津市クリーンエネルギーの利活用調査（防犯灯のＬＥＤ化と代替電源の利用など） ・電気料金の値上げ（H25.5～）				
					期待される 効果	・CO2排出量約178.33t-CO2/年の削減 削減電力量346,946kwh×0.514kg-CO2/kwh （2012関西電力(株)CO2排出係数） ・維持管理費（電気代及びメンテナンス費用）軽減分の有効活用 ①ＬＥＤの高い省エネ性と長寿命性による光熱費の軽減 ②蛍光灯の交換など防犯灯の維持管理費の軽減 ③軽減分の有効活用による地域コミュニティ活動の充実・強化				
					【みやづビジョン2011以外の計画】					
					H24 年度策定	みやづ環の地域づくり行動計画 （第2期宮津市地球温暖化防止計画）			計 画 期 間	32 年度まで
					年度策定					年度まで
					年度策定					年度まで
					【市民参加の状況】 101自治会等で3,722基（うち新規77基）リプレイス実施					
					【先進性】 ・京都府下では宮津市と京丹後市のみ実施（2市共同提案による事業採択） 宮津市は、防犯灯（自治会等管理・市管理）・道路灯・公園灯を実施 京丹後市は、市管理の防犯灯・道路灯のみ実施					
					担当室・係	自立循環型経済社会推進室 産業創出係 TEL 45-1608				

(単位:千円)

事業名	世界遺産登録推進事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—		1,840					1,840
目 的 目 標	「海の京都構想」の中核となる日本三景「天橋立」を、宮津の宝として、市民が誇りを持ち、さらにその価値を世界へ発信する。				(参考) 前年度予算額					
					1,891					
事業概要	平成26年度は、文化庁の課題に沿った海外遺産・国内遺産との比較等による調査研究や、ボーリング調査の分析等を基にとりまとめた新たな世界遺産暫定一覧表記載資産候補提案書を基に、国際的評価の更なる向上と、国内外に天橋立の価値をPRし、早期の暫定一覧表記載に向けて取り組む。 ■京都府・1市2町共同の取組 1,273千円 国際的評価・知名度を高めるとともに、暫定リスト入りに向けた新提案書のコンセプトに基づき、天橋立の調査研究事業を継続実施する。 ①国際的評価・知名度向上事業 ・イコモス関係者による国際会議及びシンポジウムの開催 ②調査研究事業 ・海外・国内資産との比較研究、砂嘴本体の形成過程研究等 ③PR事業 ・「海の京都」「国際京都学センター創設」「古都京都の文化遺産登録20周年」に合わせたPR活動 ④天橋立世界遺産登録可能性検討委員会の運営 ⑤アドバイザー招聘費 ⑥地元の協力・理解促進事業 ・文化的景観の取組など国内先進事例を紹介するシンポジウム等の開催 ※全体事業費 6,750千円(京都府負担5,000千円・1市2町負担1,750千円) ■天橋立を世界遺産にする会補助金 567千円 「天橋立を世界遺産にする会」が実施する啓発事業等を支援する。 ※天橋立を世界遺産にする会 ・会長:今井一雄(宮津商工会議所会頭) ・会員:団体会員24団体／個人会員5,897人(H25.12月現在)※H24.12月時点2,207人 ・会予算 1,300千円(予定)				背 景 経 緯	・H19.6天橋立世界遺産登録可能性検討委員会設置(府共同) ・H19.9文化庁に暫定リスト登録を申請(府・2町共同) ・H19.12市民主体の活動組織として「天橋立を世界遺産にする会」設立 ・H20.9文化庁、暫定リストの審査結果発表 →天橋立は選から漏れるも、次点となる「1a」の評価 ・H21～H23は国際シンポジウム、専門家会議等を開催 ・H24～「天橋立を世界遺産にする会」会員1万人運動を開始 ・H24.11世界遺産条約40周年記念会合				
					期待される 効果	・天橋立に対する市民の誇りが高まり、その価値を高められ、天橋立の将来への保全へとつながる ・天橋立の価値が国内外へと幅広く情報発信でき、観光誘客等の経済効果が見込まれる。				
					【みやづビジョン2011以外の計画】					
					年度策定					年度まで
					年度策定					年度まで
					年度策定					年度まで
					【市民参加の状況】					
					・H25.3.16天橋立世界遺産シンポジウムに市民等約100名が参加 ・H25.10.20「いいね！松並木ミュージアム」に市民等から約150点の作品応募					
					【先進性】					
					担当室・係	企画総務室 企画係		TEL	45-1601	

平成26年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	宮津与謝環境組合分担金			継続	予 算 額		財 源 内 訳			
							国庫支出金	府支出金	市 債	その他
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	30,855			特 定 財 源 の 内 訳			
目 的 ・ 目 標	宮津市、伊根町及び与謝野町で設立した「宮津与謝環境組合」において、新たな広域ごみ処理施設を整備することにより、一般廃棄物の安定処理を図るとともに、本市の循環型社会の形成に寄与する。						(参考) 前年度予算額			
				54,514						
事業概要	新たな広域ごみ処理施設の整備・運営主体となる宮津与謝環境組合の運営費及び事業費に対し、組合規約に基づく負担割合に応じた本市の分担金を拠出 ○宮津与謝環境組合 ・平成25年4月1日設立（与謝野町本庁舎内に事務所開設） ・管理者 宮津市長 井上正嗣 ○主な事業内容 ・生活環境影響調査書の作成及び公告・縦覧 ・新施設の整備概要とりまとめ ・敷地造成設計 ・許認可申請図書作成 ○分担金内訳(人口割) 宮津市 (43.5%) 30,855千円 伊根町 (5.3%) 3,759千円 与謝野町 (51.2%) 36,317千円 合計 70,931千円				背 景 ・ 経 緯	平成4年竣工の現宮津市清掃工場は、平成19年3月に設置期限が終了している中で、地元へ毎年延長を依頼し、同意を得て運転している。 平成25年4月1日、新たな広域ごみ処理施設の整備・運営主体となる「宮津与謝環境組合」を設立 整備候補地の「須津大谷地区（～一部石川地区）」において、生活環境影響調査、用地測量、土質調査等の準備業務を実施中。				
					期待される 効果					
					【みやづビジョン2011以外の計画】					
					年度策定				計 画 期 間	年度まで
					年度策定					年度まで
					年度策定					年度まで
					【市民参加の状況】					
【先進性】										
担当室・係		市民室 生活衛生係		TEL		45-1617				

事業名	景観まちづくり推進事業			継続	予 算 額		財 源 内 訳					
							国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—		10, 000	4, 850				5, 150		
						特 定 財 源 の 内 訳						
目 的 目 標	城下町・港町の風情を活かしながら、快適で魅力ある景観まちづくりを進めるとともに、海の京都構想を実現するため、街なみ整備の実施及び支援を行う。				(参考) 前年度予算額	国	街なみ環境事業費補助金			4, 850		
					12, 600							
事業概要	■街なみ環境整備事業 ○景観まちづくり事業補助金 8,700千円（新規） 住民主導による街なみ修景を進めるため、界限景観まちづくり協定に基づく修景への取組等に対し支援を行う。 （１）景観形成活動助成事業 界限の景観形成のルールとなる「界限景観まちづくり協定」を締結した団体の活動への補助 ・対象主体 協定締結団体 ・補助率1/2 限度額300千円 ・対象経費 協定区域における住宅等の修景内容の確認、協定加入促進、まちづくりルールの実践などの団体活動経費 （２）街なみ修景助成事業 住宅等の新築、改築など建物外観に係る修景や建築設備、外構修景、空家撤去などへの補助 ・対象主体 協定を締結した建物等の所有者 ・補助率2/3 限度額1,500千円 ・対象経費 建物外観・外構等の修景ほか ○宮津市まち景観形成協議会活動助成 1,000千円 （拡充） 良好な景観形成への取組をさらに進めるため、地域ガイドラインの策定などの景観まちづくり活動を支援 ■宮津市景観審議会の拡充 ○景観デザイン委員会の新設 200千円（新規） 界限景観まちづくり協定制度や景観まちづくり事業補助金制度などアイレベルでの修景を推進することとしていることから、デザイン面での助言等を行う「景観デザイン委員会」を景観審議会内に新設する。 ○景観審議会運営経費 100千円				背 景 経 緯	平成20年11月 天橋立周辺地域景観計画施行 平成21年6月 宮津市まち景観形成協議会設立 平成23年度 景観まちづくりの基本方針や事業展開等のまとめ 平成24年3月 宮津市景観まちづくり提言書の提出 平成25年8月 景観まちづくりマスタープラン策定						
						期待される 効果	魅力ある街なみ景観を形成することにより、まちなか観光の推進が図られる。					
					【みやづビジョン2011以外の計画】							
					H22 年度策定 文珠地区・新浜、魚屋地区まちづくり計画 H23 年度策定 社会資本総合整備計画 H24 年度策定 西部地区・府中地区景観まちづくり計画 H25 年度策定 宮津市景観まちづくりマスタープラン						計 画 期 間	年度まで
												27 年度まで
												年度まで
												年度まで
					【市民参加の状況】							
					○宮津市街地（西部地区地域会議・宮津まちづくり研究会・宮津中部地区自治連合協議会）○府中地区（府中をよくする地域会議）○文珠地区（文珠まちづくり委員会）○東部地区○上宮津地区○橋北地区							
					【先進性】							
担当室・係		建設室 まち景観係			TEL	45-1630						

(単位:千円)

事業名	重要文化的景観保護推進事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳						
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	22, 000	11, 000			10, 000	1, 000			
					特 定 財 源 の 内 訳							
					国	国宝重要文化財等保存整備費補助金			11, 000			
目 的 ・ 目 標	宮津市域の文化的景観の保護と活用を図り、魅力ある地域づくりの基盤とするため、26年度の文珠地区、27年度の宮津地区(大手川以西)における国の重要文化的景観選定に向けた保存計画の策定を行なうとともに、平成25年度に選定を受けた府中・天橋立地区において重要構成要素となる物件の修景・整備を行う。			(参考) 前年度予算額	分負	重要文化的景観整備事業受益者分担金			10, 000			
				2, 500								
事業概要	■文化的景観保護推進事業 2, 000千円 ①文化的景観検討委員会等の開催 宮津市文化的景観検討委員会で価値付け、調査・保存、整備の方向性を協議 ②保存計画の策定 文珠・宮津地区の選定申出に向け、景観形成基準や重要構成要素を協議するとともに、保存管理、整備活用方針を示した保存計画を作成する。 ③普及啓発活動 地域説明会等を開催し、文化的景観への理解を深め、選定申出に向けた重要構成要素の所有者承諾を得るとともに、文珠・宮津地区においてまちづくりフォーラムを開催 ④ガイド養成講座（歴史講座） 重要文化的景観の活用、歴史・文化資源を活かしたまちづくりを進めていくため地元自治会、丹後郷土資料館等と連携し、文珠地区を中心にガイド養成講座を開催(10回予定) 【参考】これまでの取組（H25年度） ・文化的景観フォーラム「文珠の文化的景観」 H25.8.29 ・府中・文珠地区での地域説明会、府中地区でのガイド養成講座(計11回) ・調査報告書、保存計画(全体構想・府中)の作成 ■重要構成要素物件の修理・修景事業 20, 000千円（新規） 国の選定により重要構成要素となった物件(丹後海陸交通「一の宮棧橋駅舎」)の修理・修景に係る工事費(設計委託料 2,000千円、工事請負費 18,000千円) ※市の直接事業として実施。国庫補助(1／2)・受益者分担金(1／2)			背景・経緯	天橋立世界遺産登録運動の取組が進められるとともに、「宮津・天橋立景観計画」を推進している中、平成20年度に文化庁の調査において「宮津市街地・天橋立周辺」が「重要地域」として選択された。これを受けて、文化的景観の保全・活用を図るため、府中・文珠・宮津地区について国の重要文化的景観選定を目指して取組を進めており、その第1弾として府中・天橋立地区が平成25年11月に文化審議会から選定の答申があった。							
				期待される効果	・地域の生活、生業、風土により形成された文化的景観を保護継承 ・地域の景観、遺産の価値付けによる郷土愛の醸成 ・地域の歴史、文化に根ざしたまちづくりへの気運醸成と推進 ・文化的景観を軸にした文化観光の新施策の展開 ・天橋立の世界遺産登録に向けた地域の文化資産の拡充							
				【みやづビジョン2011以外の計画】								
				年度策定						計画期間	年度まで	
				年度策定							年度まで	
				年度策定							年度まで	
				【市民参加の状況】								
				・文化的景観フォーラム「文珠の文化的景観」(H25.8.29実施、30名参加) ・地域説明会(H24.6～府中地区21回、文珠地区2回、計23回。延べ約250名参加) ・丹後・府中語り部講座(H25.6～ 11回。延べ約350名参加)								
				【先進性】								
				重要文化的景観の選定は、全国で38件（平成26年1月現在）。京都府下では宇治市に次いで2件目。								
担当室・係	教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642											



ガイド養成講座(府中地区)

(単位:千円)

事業名				公共下水道施設整備事業				継続		予 算 額		財 源 内 訳																											
												国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																							
ビジョン 基本施策				環境保全と生活環境の向上		ビジョン 重点戦略		—		430,782		150,000		249,000	31,782																								
												特 定 財 源 の 内 訳																											
目 的 ・ 目 標				公共下水道施設の整備により、公共用水域の保全と生活環境の向上を図る。 平成30年度での施設概成を目指している。				(参考) 前年度予算額		国	社会資本整備総合交付金			150,000																									
										市債	公共下水道事業債・過疎対策事業債			249,000																									
								359,600		その他	受託事業収入			30,000																									
その他	下水道使用料			1,782																																			
事業概要 ■公共下水道施設整備事業 430,782千円 ○内 容 管渠整備工事(宮村・惣・滝馬・喜多・江尻) 実施設計(喜多・江尻) 高齢者世帯排水設備整備費補助 (1)対象者 本市に住所を有し、65歳以上の者で構成される世帯のもの (2)対象工事 下水道に接続するための排水設備整備工事 (供用開始3年以内) (3)補助限度額 100千円/件 [参考] 近年の整備実績 <table><tr><td rowspan="2"></td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>決算</td><td>決算</td><td>決算</td><td>予算 (3月補正後)</td><td>予算</td></tr><tr><td>整備面積</td><td>12.1</td><td>10.9</td><td>8.3</td><td>14.7</td><td>9.0</td></tr><tr><td>事業費</td><td>389</td><td>285</td><td>311</td><td>436</td><td>431</td></tr></table>																		H22	H23	H24	H25	H26	決算	決算	決算	予算 (3月補正後)	予算	整備面積	12.1	10.9	8.3	14.7	9.0	事業費	389	285	311	436	431
																			H22	H23	H24	H25	H26																
																	決算		決算	決算	予算 (3月補正後)	予算																	
																	整備面積	12.1	10.9	8.3	14.7	9.0																	
																	事業費	389	285	311	436	431																	
																	背 景 ・ 経 緯		本市の下水道は、「宮津湾流域関連公共下水道」として昭和59年度から事業着手し、平成5年に一部地域を供用開始して以降、年々その区域を拡大し、現在に至っている。 [平成25年度末(見込)の状況] 計画面積 639.3ha 整備済面積 406.2ha (整備率 63.5%)																				
																			期待される 効果		公共用水域の保全と生活環境の向上が図られる。																		
																	【みやづビジョン2011以外の計画】																						
																	担当室・係		年度策定															計 画 期 間	年度まで				
																			年度策定																年度まで				
年度策定															年度まで																								
【市民参加の状況】																																							
【先進性】																																							
建設室 下水道・水洗化係		TEL 45-1637																																					

(単位:千円)

事業名	水道施設整備事業（安心・安全な水の安定供給対策）			継続	予 算 額		財 源 内 訳											
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上		ビジョン 重点戦略	—	564, 030	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源								
						99, 576		442, 200	22, 254									
						特 定 財 源 の 内 訳												
目 的 ・ 目 標	将来にわたる「安心・安全な水」の安定供給を図るため、老朽化が著しい浄水場の大規模改修及び規模が小さく老朽化が進む簡易水道の統合整備を行うとともに、石綿管布設替を計画的に実施する。				(参考) 前年度予算額	国	簡易水道施設整備費補助金		99, 576									
					市債	水道事業債		198, 500										
					243, 707	市債	簡易水道事業債、過疎対策事業債		243, 700									
その他	内部留保資金など		22, 254															
事業概要	■浄水場大規模改修事業(継続) 130,400千円 ○事業内容 滝馬浄水場の大規模改修 ○事業期間 平成23年度～平成26年度 ○総事業費 359百万円 ○年次計画 (千円)					背 景 ・ 経 緯	[水道事業の浄水場改修] 現在の8浄水場を、滝馬、上宮津、滝上、須津、栗田の5浄水場に集約することとし、計画的に更新・整備を進めている。 [簡易水道施設の統合整備] 平成28年度の水道事業との経営統合を見据え、老朽化が進む小規模施設の統合整備を計画的に進めている。 H18～H22 波見谷 H22～H25 由良・上石浦 [石綿管の布設替] 老朽石綿管が市内各所に残っており、計画的に布設替を進めている。											
												主 内 容	H23 (決算)	H24 (決算)	H25(予算)	H26(予算)		
													ろ過池改修 場内配管更新	液状化対策 管理棟改修 場内配管布設替 電気計装設備	液状化対策 場内配管布設替 砂置場築造	液状化対策 電気計装設備 配水池補強		
													金 額	48, 431	86, 314	93, 600	130, 400	
	■養老・日ヶ谷簡易水道統合整備事業(継続) 311,430千円 ○事業内容 養老（波見谷除く）及び日ヶ谷簡易水道の統合 ○事業期間 平成24年度～平成28年度 ○総事業費 676百万円 ○年次計画 (千円)					期待される 効果	将来にわたる安定給水の確保と、効率的かつ経済的な施設管理が可能になる。											
												主 内 容	H24 (決算)	H25 (予算)	H26(予算)	H27	H28	
													事業認可	測量調査 土質調査 詳細設計	取水施設 前処理ろ過施設 急速ろ過施設 配水施設	配水施設 電気計装設備 場内配管	配水施設 管理棟 機械室 場内整備	
													金 額	3, 394	63, 167	311, 430	218, 480	79, 313
	※ H26は、国の経済対策（H25）を活用して実施					【みやづビジョン2011以外の計画】												
						年度策定		計画期間	年度まで									
						年度策定			年度まで									
						年度策定			年度まで									
						【市民参加の状況】												
						【先進性】												
					担当室・係	建設室 水道整備係		TEL	45-1634									

(単位:千円)

事業名	英語指導事業			継続	予 算 額		財 源 内 訳					
							国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	—		7,819				7,800	19		
目 的 ・ 目 標	英語教育の充実を図るとともに、国際交流への意識の醸成に資するため、英語指導助手（AET）を2名雇用し、小・中学校に配置するもの			（参考）前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳							
					繰入	人材育成基金繰入金				7,800		
事業概要	■英語指導事業 AET活動内容 ○勤務形態 週5日（午前8時30分～午後4時15分） ※週4日の学校訪問による指導及び週1日の教育委員会事務局での教材研究等 ○学校訪問回数 ・小学校担当AET 年間162日（予定） ※宮津小54日/年、その他の小学校18日/校/年 ・中学校担当AET 年間162日（予定） ※宮津中84日/年、その他の中学校39日/校/年 ○指導内容 ・小学校 低中学年では、英語に慣れ、親しむための活動 高学年では、教材を使用した指導 ・中学校 学校が作成した指導案に基づく指導（発音練習、会話など） また、実践的な英語の指導（日常生活での会話など）			背 景 ・ 経 緯	中学校での外国語科目での授業に加え、平成20年の小学校学習指導要領の改定により、小学校5、6年生が外国語活動（英語）が必須化になった。							
					期待される 効果	実践的な英語の習得及び英語圏の社会生活等の知識の習得						
				【みやづビジョン2011以外の計画】							計 画 期 間	年度まで
				年度策定						年度まで		
				年度策定						年度まで		
				年度策定						年度まで		
				【市民参加の状況】								
				【先進性】								
				中学生の英語教育を効率的に進めるため、平成25年度から英語検定受験料の補助制度を創設								
				担当室・係		教育委員会事務局総括室 学校教育係 TEL 45-1641						

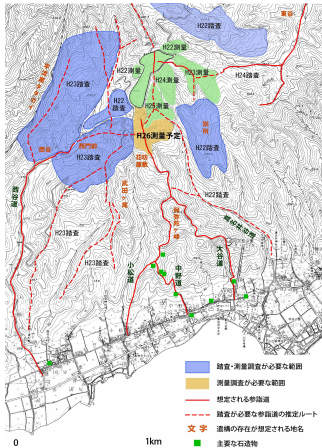
(単位:千円)

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業（スクールガード・リーダーの配置）（教育委員会事務局経費）			継続	予 算 額		財 源 内 訳						
							国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	—	550		366				184			
					特 定 財 源 の 内 訳								
					府	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金			366				
目 的 ・ 目 標	警察官OB等防犯の専門家をスクールガード・リーダーとして配置し、子どもの登下校時の安全確保を行うとともに、学校の防犯対策、PTA等の通学路見守り活動等に対して、安全対策の指導等を行う。			（参考）前年度予算額									
				550									
事業概要	■スクールガード・リーダーを2名配置 550千円 宮津市域を南ブロック（宮津小、上宮津小、栗田小）と北部ブロック（吉津小、府中小、日置小、養老小）に分け、それぞれスクールガード・リーダーを配置し、2名体制で通算100日程度学校訪問を実施 ■スクールガード・リーダーの活動内容 各小学校（校内、学校周辺及び校区）を定期的に巡回し、スクールガードの取組や、学校が実施する防犯対策などについて専門的な視点からの指導・助言を行う。 また、学校や通学路で子どもたちを見守るスクールガードを養成するための講習会を開催する。 ※市内のスクールガードの現状 全小学校区でスクールガード（子ども・地域安全見守り隊）及び青色防犯パトロール等による安全見守り体制を構築済み ○スクールガード数 1,159名（H25.8月現在） ○青色防犯パトロール団体数 8団体（H26.1月現在）			背 景 ・ 経 緯	平成21年度までは、京都府事業としてスクールガード・リーダーが配置されていたが、平成22年度以降は、市町村主体での事業体制となった。								
				期待される 効果	地域ぐるみで効率的・継続的な子どもの安全確保に向けた体制整備が確立できる。								
				【みやづビジョン2011以外の計画】									
				年度策定		計 画 期 間	年度まで						
				年度策定			年度まで						
				年度策定			年度まで						
				【市民参加の状況】 スクールガードの一員として、学校安全体制に参加									
				【先進性】 府の補助金を活用したスクールガード・リーダーの配置は、府内では丹後地域のみ。									
				担当室・係	教育委員会事務局総括室 学校教育係 TEL 45-1641								

(単位:千円)

事業名			公民館整備事業		継続	予 算 額		財 源 内 訳						
ビジョン 基本施策			教育の充実と人材育成		ビジョン 重点戦略	—	11,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
目 的 目 標			由良地区公民館に合併処理浄化槽を設置し、水洗化、洋式化による施設衛生環境と利用者利便の向上を図ることにより、活発な住民活動の推進に寄与する。				(参考) 前年度予算額		特 定 財 源 の 内 訳					
							4,300		市債	過疎対策事業債			11,000	
事業概要			■由良地区公民館合併処理浄化槽設置工事 合併処理浄化槽設置工事一式及び便器取替（洋式化） 工事一式 所在地：宮津市字由良1289-1 施設面積：432.0㎡（1階・2階延べ床面積） 施設建設年度：昭和56年度  由良地区公民館				背 景 ・ 経 緯	市内の地区公民館は、公民館活動の拠点であり、自治会、地元子供会、子育てサークル等、地域の活動拠点としても活用されている。また、災害時には、避難施設として活用する等、使用形態は多岐にわたっている。このような中、昭和56年度に竣工した由良地区公民館のトイレについては、汲み取り方式でかつ和式便器しかいないため、地域の高齢化が進む昨今、水洗化、洋式化が望まれている。						
							期待される 効果	・水洗化による衛生面の向上 ・洋式化による利用者利便の向上 ・施設の環境改善による地域コミュニティ活動の活性化						
							【みやづビジョン2011以外の計画】							
							年度策定		計 画 期 間	年度まで				
							年度策定			年度まで				
							年度策定			年度まで				
							【市民参加の状況】							
							・由良地区公民館年間利用者数：1,883人（平成24年度実績）							
							【先進性】							
							担当室・係	教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642						

(単位:千円)

事業名				市内遺跡発掘調査事業		継続		予 算 額		財 源 内 訳											
ビジョン 基本施策		教育の充実と人材育成		ビジョン 重点戦略		—		3, 500		国庫支出金		府支出金		市 債		その他		一般財源			
										1, 750		875						875			
										特 定 財 源 の 内 訳											
目 的 ・ 目 標		重要遺跡の保護と開発行為への適切な対応に向け、遺跡の範囲・内容を確認するために発掘調査を実施する。また、歴史的資源の価値づけと適切な保全を行う。						(参考) 前年度予算額		国		国宝重要文化財等保存整備費補助金		1, 750							
										府		文化財緊急保存費補助金		875							
								3, 000													
事業概要		■市内遺跡発掘調査 平成21～26年度（第6年次） ○難波野遺跡 遺跡の範囲の拡大に伴い、当初計画の北側で発掘調査を実施し、奈良時代から平安時代の遺跡の広がりを確認した。最終年度となる平成26年度は、過去の発掘調査の整理作業を進めるとともに報告書の刊行を行う。 ○成相寺旧境内 当初予定では平成25年度までの5ヵ年を事業期間としていたが、成相寺の旧境内及び現境内の範囲が当初の見込みに比し、さらに東側への広がりが認められることなどから事業期間を1年延長。 これまでの分布調査で、旧境内の範囲や現境内周辺の平坦地の状況をほぼ確認した。また、成相寺にいたる参詣道も明らかになるなど、遺跡の全体像の明確化と分布調査の成果についての図化を行った。平成26年度は成相寺の史跡指定に向け、現境内の一部測量調査を行うとともに、これまでの測量調査について報告書の刊行を行う。  平安時代の建物跡（難波野遺跡）  成相寺旧境内の調査計画						背 景 ・ 経 緯		難波野遺跡では、国道178号バイパス建設に伴う発掘調査で、弥生時代中期の「方形貼石墓」などの遺構や遺物が多数出土。遺跡保存の見地から遺跡範囲の解明が急務。 成相寺旧境内は、現在の境内の背後に広がる寺院跡で、京都府北部を代表する山岳寺院。開発行為による破壊の懸念があり、遺跡範囲の解明と測量図の整備が急務。											
																		期待される 効果		市内にある歴史資源の調査を実施し、その歴史的価値の評価と適切な保全を行うことで、市民の文化財保護意識の向上を図り、地域の誇りづくりと振興にも貢献する。	
								【みやびビジョン2011以外の計画】													
										年度策定								計画 期間		年度まで	
										年度策定										年度まで	
		年度策定										年度まで									
		【市民参加の状況】																			
		・発掘調査委員会に地元委員5人参加 ・現地説明会、地元小学校の見学、発掘体験や中学校・大学の現場体験 ・セミナー・歴史講座（H25は丹後建国1300年記念シンポジウムや丹後・府中語り部講座(計11回)）において調査結果を講義内容に活用																			
		【先進性】																			
		文化的景観保護推進事業と連携し、歴史的な地域資源の活用を目指す。また、成相寺については、現境内、旧境内を国の史跡指定につなげていく。																			
担当室・係		教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642																			

(単位:千円)

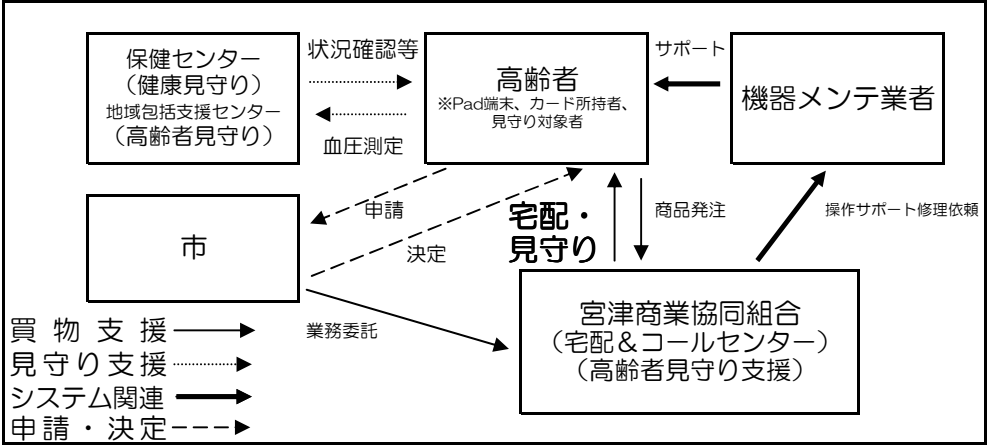
事業名		社会福祉協議会運営補助事業		継続	予 算 額		財 源 内 訳										
ビジョン 基本施策		健康増進と福祉の推進		ビジョン 重点戦略	—		13, 120		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源				
目 的 目 標		地域福祉の中核を担う社会福祉協議会に対し、地域福祉活動を幅広く、効果的に展開できるよう支援・強化を図る。				(参考) 前年度予算額		府 繰入	市町村未来づくり交付金 福祉基金繰入金		6, 580		1, 980				
						10, 740											
事業概要		■社会福祉協議会運営補助事業（充実） ○法人運営補助 8,540千円 地域福祉の中核を担う社会福祉協議会は、市と両輪となり地域福祉の推進を担う団体であり、法人運営に必要な事業費を補助するとともに組織強化を図る。 ○ボランティア振興事業補助 2,580千円 ○在宅高齢者支援「みやづ絆ネット」 1,700千円 介護保険サービスなどで対応できない社協独自事業を支援し、在宅高齢者の生活支援の充実・強化を図る。 ・暮らしのかけ橋事業 650千円 ・地域サロン運営事業 400千円 ・高齢者見守り支援事業 650千円 ○権利擁護事業 300千円 認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が十分でない者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の援助を行うことにより利用者の自立を支援する。				背 景 ・ 経 緯											
						期待される 効果		社会福祉協議会の組織が強化されることによる、地域福祉の向上が期待される。									
						【みやづビジョン2011以外の計画】											
						H23 年度策定		宮津市高齢者保健福祉計画						計 画 期 間	26 年度まで		
						年度策定									年度まで		
						年度策定									年度まで		
						【市民参加の状況】											
						【先進性】											
						担当室・係		健康福祉室 地域福祉係		TEL		45-1618					

(単位:千円)

事業名	障害児者サービス費等支給事業 （障害者福祉サービス費等支給事業、障害児給付費等支給事業）		継続	予 算 額		財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	—	565,100	281,095	141,682			142,323	
					特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 ・ 目 標	平成26年4月から施行される障害者総合支援法の改正に対応し、障害児者の自立した日常生活・社会生活を支えるために必要なホームヘルプや訓練等の障害福祉サービスを提供する。			（参考）前年度予算額	国	障害者介護給付費等負担金ほか			281,095	
				524,500	府	障害者介護給付費等負担金ほか			140,547	
					府	心身障害者サービス利用支援事業費補助金ほか			1,135	
事業概要	■障害福祉サービス費等支給事業 534,600千円 ○障害福祉サービス費等 530,000千円 障害者に介護給付費（ホームヘルプ、デイサービス等）や訓練等給付費（就労継続・移行支援等）等を支給する。 ○その他 4,600千円 重度障害児（者）在宅生活支援・療養介護医療費・利用者の負担緩和 心身障害者サービス利用支援 重症心身障害児（者）ショートステイ受入体制整備助成（府制度・新規） ■障害児給付費等支給事業 30,500千円 障害児の発達支援や放課後等デイサービスなどの障害児通所支援を行うもの。 平成26年度より就学前の障害児通所支援に係る利用者負担の多子軽減措置を実施する。（充実） ※障害者総合支援法の平成26年4月施行分の概要 ・「障害程度区分」を「障害支援区分」に変更 ・重度訪問介護の対象拡大 ・共同生活介護（ケアホーム）と共同生活援助（グループホーム）の一元化			背景・経緯	障害者自立支援法に代わり、平成25年4月に施行された障害者総合支援法により、必要な障害福祉サービスに係る給付、地域生活支援事業その他の支援を行っている。平成25年度と26年度にわたり法施行されることとなり、26年度は障害支援区分への変更や重度訪問介護の対象拡大等が行われ、新たな利用者が見込まれる。					
				期待される効果						
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				H18 年度策定	宮津市障害者基本計画			計画期間	27 年度まで	
				H23 年度策定	第3期宮津市障害福祉計画				26 年度まで	
				年度策定					年度まで	
				【市民参加の状況】						
【先進性】										
担当室・係	健康福祉室 障害福祉係			TEL	45-1622					

(単位:千円)

事業名	暮らしの安心サポート事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	—		9,554	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
							4,770			4,784
						特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 ・ 目 標	高齢者を対象に、Pad端末を使って、血圧測定による健康見守り支援と宅配による買物支援サービスを行い、高齢者の日常生活を支援する。 また、ひとり暮らし高齢者が増加する中、買物支援サービスを通じて見守り活動を強化し、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進する。				(参考) 前年度予算額	府	市町村未来づくり交付金		4,770	
					9,918					
事業概要	■暮らしの安心サポート事業 平成24年度から実施している配食サービス（介護保険特別事業会計の配食サービス事業を充実する形で実施）及びそれ以外の生活必需品等のラインナップの充実を図りながら利用者の日常生活を支援する。また、本年4月に設立する「宮津市高齢者等見守りネットワーク」、宮津市地域包括支援センターと連携しながら見守り強化を図る。 ＜機器管理＞ 5,854千円 ①端末通信料 3,240千円 ②サーバー保守 648千円（5台） 端末保守等 410千円 ③プロバイダー回線使用料 1,556千円 ＜買物支援事業の運営＞ 3,700千円 ・ 宅配、コールセンターの運営委託 ・ 高齢者等見守りネットワーク参画による見守り ・ 委託先：宮津商業協同組合 <pre>graph TD subgraph "保健センター（健康見守り） 地域包括支援センター（高齢者見守り）" B1[保健センター（健康見守り）] B2[地域包括支援センター（高齢者見守り）] end subgraph "市" S[市] end subgraph "高齢者" H[高齢者 ※Pad端末、カード所持者、 見守り対象者] end subgraph "機器メンテ業者" M[機器メンテ業者] end subgraph "宮津商業協同組合（宅配&コールセンター）（高齢者見守り支援）" G[宮津商業協同組合 （宅配&コールセンター） （高齢者見守り支援）] end B1 -.-> 状況確認等 H B2 -.-> 血圧測定 H H -- サポート --> M M -- 商品発注 --> H H -- 操作サポート修理依頼 --> M S -- 申請 --> G G -- 決定 --> H S -- 業務委託 --> G G -- 買物支援 --> H G -- 見守り支援 --> H G -- システム関連 --> H G -- 申請・決定 --> H</pre>				背 景 ・ 経 緯	平成21年度に総務省のICT利活用推進事業を活用し、商業協同組合に高齢者に係る宅配事業及び保健師による健康見守り事業を実施している。 平成25年度は平成24年度から実施している配食サービスを中心に事業を拡大するとともに、健康づくり運動との連携等により利用促進を図っている。				
					期待される効果	・ 買物等に窮する高齢者の支援 ・ 見守り等が必要な高齢者の支援				
					【みやづビジョン2011以外の計画】					
					23 年度策定	宮津市高齢者保健福祉計画			計 画 期 間	26 年度まで
					年度策定					年度まで
					年度策定					年度まで
【市民参加の状況】										
【先進性】										
担当室・係	健康福祉室 地域福祉係		TEL	45-1618						



(単位:千円)

事業名	民間保育園運営事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳																																																																												
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																																																								
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進		ビジョン 重点戦略	—	348,551	103,411	78,043		89,583	77,514																																																																								
						特 定 財 源 の 内 訳																																																																												
						国	保育所運営費負担金			103,411																																																																								
目 的 ・ 目 標	児童の健全な育成を図り、多様な保育サービスを提供するため、保育に欠ける児童の保育を民間保育園に委託する。				(参考) 前年度予算額	府	保育所運営費負担金			51,705																																																																								
						府	子育て支援特別対策事業費補助金			9,214																																																																								
					340,518	府	保育対策等促進事業費補助金ほか			17,124																																																																								
						分負	保育所保育料			89,583																																																																								
						事業概要	■民間保育園への保育の実施委託 310,581千円 民間保育園に保育を委託し、効果的で柔軟な保育サービスの提供を行う。 【民間保育園】 みずほ保育園、亀ヶ丘保育園、たんぼぼ保育園、吉津保育園、府中保育園 ■休日保育の実施 1,200千円 保護者からの保育ニーズに対応し、府中保育園において休日保育を実施する。 ■延長保育、乳児保育、一時預かり、障害児特別保育の実施ほか 28,786千円 民間5保育園において、乳児保育や延長保育等を継続実施するとともに、保育サービスの充実を図る。 ■保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金 7,984千円（新規） 保育所職員の離職防止など職員の人材確保を推進するため、給与改善に取り組む市内民間保育園（5園）に対し賃金増加分を補助し、その負担軽減を図る。 （※国の安心こども基金を活用した京都府補助事業<補助率:10/10>） 〔参考〕保育園入所児童数（4月1日）の状況 <table><tr><th></th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26(見込)</th></tr><tr><td>み ず ほ保育園</td><td>72</td><td>80</td><td>90</td><td>95</td><td>87</td><td>91</td><td>95</td></tr><tr><td>たんぼぼ保育園</td><td>65</td><td>68</td><td>66</td><td>65</td><td>67</td><td>68</td><td>67</td></tr><tr><td>亀 ヶ 丘保育園</td><td>43</td><td>49</td><td>46</td><td>48</td><td>45</td><td>47</td><td>48</td></tr><tr><td>吉 津 保育園</td><td>48</td><td>57</td><td>53</td><td>53</td><td>55</td><td>63</td><td>47</td></tr><tr><td>府 中 保育園</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>44</td><td>34</td><td>37</td></tr><tr><td>広 域 入 所</td><td>8</td><td>6</td><td>5</td><td>6</td><td>10</td><td>8</td><td>3</td></tr><tr><td>民間保育園計</td><td>236</td><td>260</td><td>260</td><td>267</td><td>308</td><td>311</td><td>297</td></tr><tr><td>(参考)民間保+公立保</td><td>327</td><td>346</td><td>337</td><td>352</td><td>346</td><td>349</td><td>340</td></tr></table>					H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26(見込)	み ず ほ保育園	72	80	90	95	87	91	95	たんぼぼ保育園	65	68	66	65	67	68	67	亀 ヶ 丘保育園	43	49	46	48	45	47	48	吉 津 保育園	48	57	53	53	55	63	47	府 中 保育園	—	—	—	—	44	34	37	広 域 入 所	8	6	5	6	10	8	3	民間保育園計	236	260	260	267	308	311	297	(参考)民間保+公立保	327	346	337	352	346	349	340
	H20	H21	H22	H23	H24						H25	H26(見込)																																																																						
み ず ほ保育園	72	80	90	95	87						91	95																																																																						
たんぼぼ保育園	65	68	66	65	67						68	67																																																																						
亀 ヶ 丘保育園	43	49	46	48	45						47	48																																																																						
吉 津 保育園	48	57	53	53	55						63	47																																																																						
府 中 保育園	—	—	—	—	44						34	37																																																																						
広 域 入 所	8	6	5	6	10						8	3																																																																						
民間保育園計	236	260	260	267	308						311	297																																																																						
(参考)民間保+公立保	327	346	337	352	346						349	340																																																																						
期待される 効果	多様な保育ニーズへの柔軟かつ迅速な対応																																																																																	
【みやづビジョン2011以外の計画】																																																																																		
H21 年度策定		宮津市次世代育成支援地域行動計画 ー子どものびのびプランー				計 画 期 間	26 年度まで																																																																											
年度策定							年度まで																																																																											
【市民参加の状況】																																																																																		
【先進性】																																																																																		
担当室・係	健康福祉室 児童福祉係			TEL	45-1621																																																																													

(単位:千円)

事業名	北近畿タンゴ鉄道経営支援事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳						
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—		177,457				87,400	90,057		
						特 定 財 源 の 内 訳						
目 的 ・ 目 標	KTRの安全・快適な運行の確保と利用者の増加、持続可能な経営の確立を目指す。				(参考) 前年度予算額	繰入	過疎地域自立促進特別事業基金繰入金	87,400				
					139,193							
事業概要	■KTR再生事業補助金 32,450千円 施設・設備整備に係る国庫対象外分や集客事業に係る補助 ○事業内容：車両リニューアルや冷房装置更新など 総事業費 327,220千円（自治体100%） ○負担割合：京都府域分（1/2）を府内関係市町で負担（うち宮津市23.509%） ■北近畿タンゴ鉄道安全運行維持費補助金 90,000千円 KTRの経常損益（H26）に対する補填 ○事業内容：運行及び基盤維持費用に係る補助 総事業費（見込） 857,000千円（自治体100%） ○負担割合：京都府域分（92.4%）の1/2を府内関係市町で負担（うち宮津市23.509%） ■鉄道軌道安全輸送設備等整備費補助金 24,003千円 KTR宮津線、宮福線の施設・設備整備に係る補助 ○工事内容：ATS装置新設、信号機LED化など 総事業費 545,800千円（国1/3、自治体1/3、事業者1/3） ○負担割合：自治体負担（1/3）のうち京都府域分の1/2を関係市町で負担（宮津市：宮津線27.59%、宮福線38.53%） ■宮福線等電化高速化支援補助金 21,047千円 H8のKTR宮福線等電化高速化事業に係る整備費償還金の補助 ○償還期間：平成7年度～平成32年度 ○負担割合：宮津市25%、福知山市25%、京都府50% ■公共交通バリアフリー化支援補助金 9,957千円 KTR宮津駅・天橋立駅のバリアフリー化に係る整備費償還金の補助 ○償還期間：平成24年度～平成33年度				背 景 ・ 経 緯	年間利用者数が200万人を割り込み、全国の三セク鉄道最大の赤字を計上するきわめて厳しい経営環境にあるKTRについて、H24.9に北部地域総合公共交通検討会から提言された「中間とりまとめ」をもとに、経営・安心安全・増客集客の3つの視点で関係者が一丸となって再生に取り組んでいる。 参考：中間とりまとめ「愛されるKTRへ～乗って守る・来てもらって守る～」 ①経営改善対策 ・経営体制の刷新 ・本社、運行本部の統合 ・支援スキームの見直し ・社員の意識改革 ②安全安心対策 ・軌道設備の投資 ・車両更新の投資 ③増客集客対策 ・分かりやすい運行ダイヤの導入 ・二次アクセスの向上 ・駅のにぎわいづくり ・駅を中心としたまちづくり						
						期待される 効果	・KTRの経営の安定化、安全運行の確保 ・KTR集客を通じた域外観光客の誘客					
					【みやづビジョン2011以外の計画】							
					年度策定					計 画 期 間	年度まで	
					年度策定						年度まで	
					年度策定						年度まで	
					【市民参加の状況】							
【先進性】												
担当室・係	企画総務室 企画係 TEL 45-1601											

(単位:千円)

事業名	地方バス路線運行維持対策事業			継続	予 算 額		財 源 内 訳				
							国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	45,700	(参考) 前年度予算額		1,290	44,000		410	
						特 定 財 源 の 内 訳					
						府	市町村運行確保生活路線維持費補助金			1,290	
目 的 ・ 目 標	交通弱者を中心とした地域住民の移動手段及び鉄道からの二次交通手段を確保するため、利便性向上等を進め適切な公共交通の維持を図る。				33,141	市債	過疎対策事業債（ソフト分）			44,000	
事業概要	■幹線路線 市町域を越える幹線路線の運行を、国府・関係市町とともに支援。 平成25年10月から宮津与謝エリアに上限200円バスを導入（乗車人員1.5倍を目標）したことにより支援額が増加する見込み。 ○伊根線ほか9路線 39,316千円（運行経費 237,000千円） （利用者 H23：406,203人、H24：411,337人、H25：407,292人） ■枝線路線 集落等と幹線を結ぶ枝線路線の運行を支援 ○上宮津線 6,384千円（運行経費 7,409千円） ・上宮津地区～宮津市街地間を運行 ・1乗車あたり上限200円運賃 （利用者 H23：2,171人、H24：5,691人、H25：6,205人） [参考] スクールバス（教育費） 38,450千円 集落等と幹線を結ぶ枝線路線をスクールバス・一般混乗型として運行。1乗車あたり上限200円運賃 ○日置世屋線 平成26年度からはスクールバス・一般混乗型として新設 世屋～畑～橋立中学校間を運行 （利用者 H23：469人、H24：349人、H25：336人） ○田井線・島陰新宮線 田井～宮津市街地間、島陰～新宮間を運行 （利用者 H23：15,684人、H24：19,724人、H25：20,580人） ○日ヶ谷線・波見線 日ヶ谷～養老間、波見～養老間を運行 （利用者 H23：15,823人、H24：14,117人、H25：13,992人） ○由良地区児童用スクールバス ※H25.4月から運行スタート 由良～栗田小学校間を運行（児童のみ） （利用者 H25：8,121人（11月末時点。由良地区児童数 32人）				背景・経緯	近年、沿線人口の減少や自家用車の普及等からバス利用者は低位で推移している。一方で高齢化に伴って、公共交通の必要性は逆に高まっている。こうした下で、これまで公共交通空白地の解消や各路線の利便向上等に取り組んできた。 ・H21.1 畑・新宮地区へ乗り入れ(世屋畑線・島陰新宮線) ・H23.3 宮津市街地まで延伸(上宮津線) ・H24.4 武田病院へ乗り入れ(上宮津線・田井線)					
					期待される効果	・通勤・通学、買い物・通院等移動の利便の向上 ・利用者拡大による健全な公共交通の維持					
					【みやづビジョン2011以外の計画】						
					年度策定					計画期間	年度まで
					年度策定						年度まで
					年度策定						年度まで
【市民参加の状況】 事業者や利用者代表からなる地域公共交通会議において、ダイヤ・運賃・路線等について協議											
【先進性】											
担当室・係	企画総務室 企画係 TEL 45-1601										

(単位:千円)

事業名	除雪事業・地域一体型除雪事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳								
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源				
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	42, 500	(参考) 前年度予算額	16, 704			2, 500	23, 296				
						特 定 財 源 の 内 訳								
						国	除雪事業費補助金			16, 704				
目 的 ・ 目 標	市が管理する主要道路を除雪することにより、安全で円滑な道路交通を維持するとともに市民生活の向上に努める。 除雪路線ではない道路や狭隘な道路については、小型除雪機を購入し、自治会等に貸与することで市民協働による除雪体制の充実を図る。			10, 311		諸	コミュニティ助成金			2, 500				
事業概要	■除雪事業 40, 000千円 除雪路線のうち、早朝除雪路線については、12月15日～3月15日までを除雪期間とし、路面上の積雪が概ね15ｃｍ以上となったときに、委託業者により除雪を実施。また、除雪車両を持たない業者には、市がリースした除雪車両を貸し付けている。 ○除雪委託料 27, 300千円 除雪体制 33業者、53台予定（H25：33業者、53台） ○除雪車両リース料 11, 947千円 16台分 （H25：11, 615千円、16台（見込）） ○その他 753千円 市所有除雪車両1台の車検等維持管理経費 小型除雪機の賠償責任保険料 など <参考：雪寒指定道路の見直し> 国により21年ぶりに除雪費国庫補助金の対象路線である雪寒指定道路が見直しされ、本市の指定路線は38路線（48.8ｋｍ）から、88路線（76.9ｋｍ）に約1.58倍延伸。（除雪路線延長257路線 126.6ｋｍ） 雪寒指定道路＝積雪寒冷の度が特にはなはだしい地域における道路の交通を確保するために定められた「積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法」に基づき指定された道路。日交通量300台以上等の指定基準がある。 ■地域一体型除雪事業 2, 500千円（新規） ○小型除雪機購入 2台 ※現在34台の小型除雪機を自治会等に貸与し市民協働による除雪を実施			背景・経緯	除雪路線ではない道路や狭隘な道路については、自治会に協力を求め、市民協働により対応している。平成22、23年度の大雪や、大雪になるとの気象予報等により小型除雪機の貸与要望が増えている。 また、これまで貸与してきた小型除雪機の更新も必要となっている。									
					期待される効果	冬期の市道の交通確保								
				【みやづビジョン2011以外の計画】										
									年度策定				計画期間	年度まで
									年度策定					年度まで
									年度策定					年度まで
				【市民参加の状況】										
				除雪車通過後の自宅前除雪や自治会の小型除雪機による除雪など										
				【先進性】										
				担当室・係					建設室 建設管理係		TEL		45-1628	

(単位:千円)

事業名	道路新設改良事業		継続	予 算 額		財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	92,950	46,200		45,000		1,750	
					特 定 財 源 の 内 訳					
					国	道路整備事業費補助金			46,200	
目 的 ・ 目 標	道路、橋梁等の社会資本の老朽化が進む中、ストック点検の実施や橋梁長寿命化修繕計画の策定により計画的な整備・修繕等を進めることで、社会資本の長寿命化を図り、安心・安全で快適な生活環境づくりに努める。			(参考) 前年度予算額	市債	過疎対策事業債			30,000	
				40,889	市債	辺地対策事業債			15,000	
事業概要	■社会資本整備総合交付金事業 77,000千円（充実） ○基幹事業 鶴賀波路線【交通安全】 30,000千円 全体 L=540m H26年度 L=230m 浜垣中瀬線【舗装修繕】 15,000円 全体 L=1058m H26年度 L=375m 橋梁整備事業【長寿命化】 30,000千円 工 事(4橋) 昭和橋、杉末橋、浜垣橋、中田橋 設計費(1橋) 由良谷橋 ○効果促進事業 マンホール段差解消事業 2,000千円 ■辺地対策道路改良 15,000千円 段線【舗装改良】 15,000千円 全体 L=540m 工事費 9,600千円 測量費5,000千円、事務費400千円 ■その他 950千円 消耗品等事務費 鶴賀波路線  浜垣中瀬線 			背 景 ・ 経 緯						
				期待される 効果	安心・安全な道路空間の確保					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				H24 年度策定	社会資本総合整備計画「京都府内における通学路等の交通安全対策の推進」			計 画 期 間	28 年度まで	
				H24 年度策定	社会資本総合整備計画「京都府内における道路構造物の的確な維持保全の推進」				28 年度まで	
				H24 年度策定	社会資本総合整備計画「京都府内における道路構造物の老朽化対策、防災・減災対策と安心・安全な道路整備の推進」				28 年度まで	
				【市民参加の状況】						
				【先進性】						
				担当室・係	建設室 土木係		TEL	45－1629		



鶴賀波路線



浜垣中瀬線

(単位:千円)

事業名	「命の里」生活環境整備事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳					
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—		20,000	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
							13,333	5,000		1,667	
						特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 ・ 目 標	養老地区が策定する地域再生計画に基づき、生活環境基盤（水路、道路等）の整備を図り、過疎化・高齢化が著しい集落の再生、元気な里づくりを推進する。				（参考）前年度予算額	府	共に育む「命の里」事業費補助金			13,333	
						市債	道路整備事業債			5,000	
					13,500						
事業概要	■共に育む「命の里」事業（充実）				背 景 ・ 経 緯	共に育む「命の里」事業 府民生活を支える「命の里」である農村地域を守り育んでいくため、後継者不足や農林地の荒廃など地域の抱える課題を集中的かつ総合的に解決するもの。 【市内の取組状況】 世屋地区・日ヶ谷地区：平成21年～24年度 上宮津地区：平成22年～平成24年度 日置地区：平成23年～平成25年度 養老地区・由良津地区：平成25年度～					
						期待される 効果					
	【実施箇所】										
	地区名	路線名	工事概要	事業費							
	養老地区	長江中波見線 中地線 犀谷線 小山線 里道	舗装工 側溝工 舗装工 側溝工	20,000千円							
		など									
			原材料支給		地元施工分						
	【みやづビジョン2011以外の計画】										
	年度策定									計 画 期 間	年度まで
	年度策定										年度まで
	年度策定										年度まで
	【市民参加の状況】 地域連携による話し合いにより、元気な里づくりへの課題解決に取り組んでいる。										
【先進性】											
担当室・係						建設室 土木係		TEL	45－1629		

事業名	都市計画事務事業			継続	予 算 額		財 源 内 訳				
							国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	6,300			2,922		263	3,115	
						特 定 財 源 の 内 訳					
						府	市町村未来づくり交付金			2,875	
目 的 ・ 目 標	人口や交通量の減少など社会情勢の変化を踏まえ、都市計画道路の見直しを行い、計画的な都市基盤の整備を図る。				(参考) 前年度予算額	府	土地利用規制対策交付金			46	
						府	市町村事務委任交付金			1	
					8,762	使手	法定外公共物占用料等			150	
						使手	屋外広告物許可手数料			113	
事業概要	■宮津市都市計画道路見直しによる都市計画変更経費 5,750千円 平成24年度から「宮津市都市計画道路網見直し検討委員会」において行っている都市計画道路の存廃等の議論を受け、市としての方針を決定するとともに、都市計画の変更を行う。 (対象路線) ・宮津岩滝線 ・漁師波路線 ・須津野田川線 ・波路惣線 ・本町宮津停車場線 ・鶴賀宮津停車場線 ・島崎本町線 ・宮本鶴賀線 ・鶴賀宮村線 ・宮津港惣線 ・宮津停車場京街道線 (業務委託) ・都市計画変更図書作成業務 ・都市計画総括図修正業務 (経過) 平成24年度 ・宮津市都市計画道路網見直し検討委員会の設置 ・京都府都市計画道路網見直し指針等に基づく廃止候補路線の検証を実施 平成25年度 ・都市計画上の存廃等の判断基準とする「宮津市都市計画道路網見直し指針」を策定し、整備済路線以外の11路線について検証を実施 ～26年度 ■都市計画事務事業経費 550千円 宮津市都市計画審議会を開催 2回 委員15人（学識経験者5人、関係団体3人、市議会議員4人、行政機関3人）				背 景 ・ 経 緯	本市の都市計画道路は、高度経済成長期以前は人口の増加や市街地の拡大等を前提として都市計画決定していたが、近年では少子高齢化が進展し、人口や交通量の減少など社会情勢は大きく変化し、まちづくりの方向性も収束傾向を踏まえたものに変化してきた。このような中、将来のまちづくりと整合した都市計画とするため、都市計画道路の見直しを検討する委員会を設置し、都市計画道路の再構築を目指している。					
						期待される 効果	全域の総合性、一体性を確保する広域的見地から、都市計画道路の見直しの基本的な方針を定めることにより、地域の実情を十分に踏まえたまちづくりを推進し、合理的で効果の高いまちづくりを進めることができる。				
					【みやづビジョン2011以外の計画】						
					H25 年度策定		宮津市都市計画道路網見直し指針			計画 期間	年度まで
					年度策定				年度まで		
					年度策定				年度まで		
					【市民参加の状況】						
					商工会議所、青年会議所、中部・西部・東部地区自治連合協議会						
					【先進性】						
					担当室・係		建設室 まち景観係			TEL	45-1630

(単位:千円)

事業名	市営住宅環境整備事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳					
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	58,000	26,100		31,900				
					特 定 財 源 の 内 訳						
					国	地域住宅交付金			26,100		
目 的 ・ 目 標	公共下水道の供用開始に伴う市営住宅団地の水洗化整備工事を年次的に実施し、居住環境の向上を図るとともに住宅団地全体のポテンシャルアップにつなげる。				(参考) 前年度予算額	市債	公営住宅整備事業債		31,900		
					22,600						
事業概要	■市営住宅鳥が尾団地水洗化整備工事（充実） 【全体計画】 市営住宅鳥が尾団地26棟114戸及び集会所1棟について、平成20年度に策定の宮津市地域住宅計画（H21～H26）に基づき水洗化整備工事を実施する。 ※排水管布設、接続のほか、 - 和式汲み取り便器を洋式水洗便器に取替 - ダイニングキッチン床改修、流し台取替 【H26年度事業】 14棟57戸及び集会所1棟の水洗化 【実績】 - H23年度：3棟12戸 - H24年度：4棟20戸 - H25年度：5棟25戸				背 景 ・ 経 緯	平成22年度 鳥が尾団地の一部について公共下水道供用開始 平成23年度～ 順次、供用開始					
						期待される 効果	・ 市営住宅の居住環境の向上 ・ 団地全体のポテンシャルアップ				
					【みやづビジョン2011以外の計画】						
					H20 年度策定		宮津市地域住宅計画			計 画 期 間	26 年度まで
					H21 年度策定		宮津市公営住宅等長寿命化計画				30 年度まで
					年度策定						年度まで
					【市民参加の状況】						
					【先進性】						
					担当室・係		建設室 建築住宅係			TEL	45-1631

(単位:千円)

事業名	住宅耐震化促進事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳							
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源			
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	7,010	2,275	2,370			2,365				
					特 定 財 源 の 内 訳								
					国	木造住宅耐震化促進事業費補助金			1,375				
目 的 ・ 目 標	地震時における大規模火災や、倒壊して避難路等をふさぎ、避難・救命・消火等の活動の妨げになる可能性の高い危険な木造住宅の耐震性の向上を図り、市民の生命及び財産の保護、安心・安全なまちづくりの推進を図る。			前年度予算額	国	地域住宅交付金			900				
				9,610	府	木造住宅耐震化促進事業費補助金			2,370				
事業概要	■耐震改修 7,010千円 宮津市建築物耐震促進計画に基づき耐震化の促進を図る。 ○耐震改修 6,500千円 ・改修戸数 5戸 ・公的補助 1,300千円 ①耐震改修助成 基本額 1,200千円（公的補助分3/4） ②リフォーム経費 基本額 800千円（公的補助分1/2） [参考：H21～H25実績 28件] ○耐震診断 510千円 ・診断戸数 10戸 ・公的補助 51千円（個人負担なし） [参考：H16～H25実績 135件] ※耐震化率 ・平成20年度 38.8％ ⇒ 平成24年度末 46.3％ ・目標 平成27年度末90％			背 景 ・ 経 緯	平成16年度～ 木造住宅の耐震診断助成を開始 平成21年度～ 木造住宅の耐震改修助成を開始								
					期待される 効果	・市民の生命及び財産の保護を図る。 ・安心、安全なまちづくりを推進する。							
				【みやづビジョン2011以外の計画】									
				H20 年度策定					宮津市地域住宅計画			計 画 期 間	26 年度まで
				H20 年度策定					宮津市建築物耐震促進計画				27 年度まで
													年度まで
				【市民参加の状況】									
				【先進性】									
				担当室・係		建設室 建築住宅係			TEL		45-1631		

(単位:千円)

事業名	防災力の強化 (防災施設整備事業・防災体制強化事業)			継続	予 算 額		財 源 内 訳				
							国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—		32, 000			250	30, 000	1, 500	250
目 的 ・ 目 標	自助、共助、公助の連携による地域の総合的な防災力を高めるもの				(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
						府	市町村未来づくり交付金			250	
					市債	防災施設整備事業債			30, 000		
事業概要	■防災施設整備事業 30, 000千円 ○防災行政無線のデジタル化 (H25～) 市内に108基配備し、放送を行っている防災行政無線のうち、26基のアナログ波子局をデジタル化に更新する。 ・対応年次 平成25年度～平成27年度 ・平成26年度 26基のうち7局更新 (ほか再送信子局1局の新設) ※平成25年度に10局更新済、平成27年度に9局更新予定 ■防災体制強化事業 ○地域防災コミュニティ支援事業 (H24～) 1, 500千円 自治会が主体となつて行う防災活動・施設整備等を支援する。 ・支援交付額 対象経費の1 / 6 以内 (50万円を限度) ※京都府の地域力再生プロジェクト支援事業の活用を視野 ※平成24年度は、3自治会 (大島、岩ヶ鼻、長江)、平成25年度は1自治会 (長江) の避難路整備に支援 ○自治会集会所等の避難所に係る備品整備補助 (新規) 500千円 各自治会において、自治会集会所や強固な活動拠点施設等を「一時避難所」として位置付け、地区住民の避難先を確保する。 「一時避難所」を確保する自治会に対し、災害時の情報収集手段 (地デジ化、TV無設置自治会集会所の解消) の確保経費の一部を補助する。 ・補助金交付額 対象経費の1 / 2 以内				背 景 ・ 経 緯	平成16年10月の台風23号によって大きな被害を受けた本市では、行政と住民が一体となった防災力の強化に努めてきた。					
						さらに、東日本大震災を目の当たりにする中で、より一層、地域の防災意識が高まっている。					
					期待される 効果	地域主体の防災意識、共助意識の向上。					
					【みやづビジョン2011以外の計画】						
					年度策定						計 画 期 間
年度策定						年度まで					
年度策定						年度まで					
【市民参加の状況】											
防災訓練、地域防災コミュニティ支援事業には、多くの住民が参加、協力をいただいている。											
【先進性】											
担当室・係	企画総務室 消防防災係					TEL	45-1605				

(単位:千円)

事業名	公共施設マネジメントの推進（財産管理事業）			新規	予 算 額		財 源 内 訳				
							国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	4, 000	特 定 財 源 の 内 訳						
									4, 000		
目 的 ・ 目 標	宮津市が保有する公共施設の維持管理経費や更新費用、耐震安全性等の現状、耐用年数等を把握することにより、実態の「見える化」を行い、今後の公共施設のあり方を検討し、将来にわたって効率よく行政運営や行政サービスを継続していくために、公共施設再生計画を策定する。			（参考）前年度予算額							
事業概要	■公共施設再生計画等の策定準備 4, 000千円 現在保有する公共施設（道路、橋梁、水路、水道、下水道を除く）の現状と課題を白書として策定する。 ○基本データの収集 市内の公共施設約60ヶ所の耐用年数、利用状況、稼働率、更新費用、コスト計算等のデータを収集 ○白書の作成 収集したデータを基に、現在の実態を把握し、データから判明した課題を表面化 ※ 以後の取組（H27以降） ○「白書」作成により把握できた全体像を鑑み、今後の公共施設のあり方を検討し、「宮津市公共施設再生計画」を策定する。 ○計画実現に向けた合意形成 ①利用者意向調査 ②住民・議会合意形成 ③財源確保 ④計画に基づいた維持管理の実現			背 景 ・ 経 緯	今後、公共施設の維持経費の増嵩が見込まれる中で、そのあり方について検討する必要がある。						
					期待される 効果	適正な規模（人口、財政規模）にあった公共施設を配置することにより、将来にわたる市政の運営に寄与する。					
				【みやづビジョン2011以外の計画】							
				年度策定			計 画 期 間	年度まで			
				年度策定				年度まで			
				年度策定				年度まで			
				【市民参加の状況】							
				【先進性】							
				担当室・係		財務室 管財契約係		TEL	45-1611		

(単位:千円)

事業名		議会運営事業 ～議会改革の取組～		継続		予 算 額		財 源 内 訳												
ビジョン 基本施策		—		ビジョン 重点戦略		—		611		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源						
目 的 目 標		議会基本条例に基づき、市民に開かれた議会を目指して情報公開に取り組むとともに、市民に対して議会の議決、運営についての説明責任を果たす。						(参考) 前年度予算額		特 定 財 源 の 内 訳										
								600												
事業概要		■議会インターネット動画(録画)配信 197千円 本会議の映像について、インターネット動画（録画）配信を行う。 ■一般質問通告一覧表の新聞折込 358千円 一般質問の質問事項及び質問内容を、新聞折込により市民周知する。 ■議会報告会の開催 56千円 市内各地域において、年2回議会報告会を開催し、市民と意見交換を行う。 【その他】 平成26年7月9日 市議会議員任期満了 改選に伴う経費（議員研修会の開催等） 202千円 						背 景 経 緯												
								期待される 効果		議会活動の情報を公開することにより、市政運営並びに議会運営への関心度が高まり、市民参加が期待される。										
								【みやづビジョン2011以外の計画】												
										年度策定				計画 期間		年度まで				
										年度策定						年度まで				
		年度策定						年度まで												
		【市民参加の状況】 議会報告会 H24 13会場 187人参加 H25 14会場 187人参加 (4月：8会場 106人、10月：6会場 81人)																		
		【先進性】																		
		担当室・係		議会事務局 議事調査係		TEL		45-1639												

(単位:千円)

事業名	市民協働事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳							
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源			
ビジョン 基本施策	—	ビジョン 重点戦略	—	3,000				2,600	400				
					特 定 財 源 の 内 訳								
目 的 ・ 目 標	市民と行政の協働の重要な核となる地域会議活動を充実する。			(参考) 前年度予算額	繰入	まちづくり基金繰入金			2,600				
事業概要	■地域会議の活動支援 2,600千円 活動のベースとなる運営を支援するとともに、みやづビジョン2011に関連する地域づくり計画策定を支援する。 ○地域会議交付金 1,400千円 100千円×14地域会議 ＜H25.12現在 14地域会議（全地域設立）＞ ○地域づくり計画策定補助金 1,200千円 300千円×4 地域会議 ＜平成25年度までに5つの地域会議に交付＞ ■ふるさと宮津応援寄附の推進 400千円（充実） 寄付者全員に2,000円相当のふるさと産品を贈呈 ○パンフレット更新、寄附依頼等 宮津のPRと寄附者の利便性を考慮したパンフレットに一新			背 景 ・ 経 緯	・H19～地域会議設置 ・H25末14地域会議設立 ・以降、各地区の特色に応じて、様々なまちづくり活動に取り組んでいる。 ・H23～みやづビジョン2011に関連する地域づくり計画の策定実施に5地域会議が取り組まれている。								
					期待される効果	地域主体のまちづくり活動の更なる活発化							
				【みやづビジョン2011以外の計画】									
				H23 年度策定					財政健全化計画2011			計 画 期 間	27 年度まで
				年度策定									年度まで
				年度策定									年度まで
				【市民参加の状況】									
				【先進性】									
				担当室・係					企画総務室 企画係		TEL		45－1601

(単位:千円)

事業名				協働のまちづくり事業				継続		予 算 額		財 源 内 訳																																	
												国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																													
ビジョン基本施策		—		ビジョン重点戦略		—		10,700		特 定 財 源 の 内 訳																																			
目 的 ・ 目 標		市民や地域等におけるまちづくり活動を促進し、もって市民と行政の協働を推進する。		(参考) 前年度予算額		繰入				まちづくり基金繰入金		5,000																																	
						諸		コミュニティ助成金		5,700																																			
						5,000																																							
事業概要		■宮津市まちづくり補助金 5,000千円 ○対象団体：市民団体（主たる活動場所が宮津市内であること、組織の運営に関する規約等が定めてあること及び会計が適正に管理されていること） ○対象事業：宮津市の知名度の向上、環境保全又は景観形成、観光振興又は農村・都市交流等に資すると認められる事業 ○補助率：補助対象経費の2分の1以内 ○補助上限額：100万円 ○審査等：申請事業の内容、効果等について市民による「審査会」において審査する。 <（参考）H25宮津市まちづくり補助金実績見込> <table><tr><th>事業名</th><th>事業費</th><th>補助額</th></tr><tr><td>江戸から現代へ～歴史・文化・芸術紀行～現代版北前船プロジェクトIn天橋立</td><td>1,613千円</td><td>240千円</td></tr><tr><td>宮津・竹の学校事業</td><td>2,101千円</td><td>340千円</td></tr><tr><td>奥山コミュニティ環境整備事業</td><td>1,200千円</td><td>200千円</td></tr><tr><td>ほか7件（計10件）</td><td>16,167千円</td><td>2,630千円</td></tr></table> ■宮津市コミュニティ助成金 5,700千円 (財)自治総合センターの助成制度を活用し、自治会のコミュニティ活動を支援する。 <一般コミュニティ助成事業>（助成率10/10、上限250万円） <table><tr><th>自治会名</th><th>事業内容</th><th>事業費</th><th>申請額</th></tr><tr><td rowspan="2">宮津西部地区神楽芸能保存会</td><td>社名旗の新調</td><td rowspan="2">2,835千円</td><td rowspan="2">2,500千円</td></tr><tr><td>獅子頭の新調</td></tr><tr><td>日置上自治会</td><td>獅子頭、幟等の新調等</td><td>1,858千円</td><td>1,800千円</td></tr><tr><td>里波見自治会</td><td>エアコンの新調</td><td>1,439千円</td><td>1,400千円</td></tr></table>						事業名	事業費	補助額	江戸から現代へ～歴史・文化・芸術紀行～現代版北前船プロジェクトIn天橋立	1,613千円	240千円	宮津・竹の学校事業	2,101千円	340千円	奥山コミュニティ環境整備事業	1,200千円	200千円	ほか7件（計10件）	16,167千円	2,630千円	自治会名	事業内容	事業費	申請額	宮津西部地区神楽芸能保存会	社名旗の新調	2,835千円	2,500千円	獅子頭の新調	日置上自治会	獅子頭、幟等の新調等	1,858千円	1,800千円	里波見自治会	エアコンの新調	1,439千円	1,400千円	背景・経緯		・H20、ふるさと寄附税制、市民3大プロジェクトを契機として、宮津市まちづくり補助金制度を創設 ・以降、府の地域力再生プロジェクト支援事業交付金とともに、6ヵ年で57件(99,781千円)の市民活動等を支援			
								事業名	事業費	補助額																																			
								江戸から現代へ～歴史・文化・芸術紀行～現代版北前船プロジェクトIn天橋立	1,613千円	240千円																																			
								宮津・竹の学校事業	2,101千円	340千円																																			
								奥山コミュニティ環境整備事業	1,200千円	200千円																																			
ほか7件（計10件）	16,167千円	2,630千円																																											
自治会名	事業内容	事業費	申請額																																										
宮津西部地区神楽芸能保存会	社名旗の新調	2,835千円	2,500千円																																										
	獅子頭の新調																																												
日置上自治会	獅子頭、幟等の新調等	1,858千円	1,800千円																																										
里波見自治会	エアコンの新調	1,439千円	1,400千円																																										
期待される効果		市民のまちづくり活動の拡大				【みやづビジョン2011以外の計画】																																							
		年度策定				計画期間		年度まで																																					
		年度策定				計画期間		年度まで																																					
		年度策定				計画期間		年度まで																																					
		【市民参加の状況】				57件の市民活動が立ち上がったとともに、事業の審査においても、「宮津市まちづくり補助金申請事業審査会」において、市民が参画している。																																							
		【先進性】																																											
担当室・係		企画総務室 企画係				TEL 45－1601																																							

(単位:千円)

事業名	海フェスタ京都開催事業			新規	予 算 額		財 源 内 訳																																											
							国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																							
ビジョン 基本施策	—		ビジョン 重点戦略	—		1,000					1,000																																							
目 的 目 標	毎年、港湾主要都市が開催している「海フェスタ」を誘致することにより、海とそれぞれの地域の魅力を全国に発信し、京都府北部地域の活性化に繋げる。						特 定 財 源 の 内 訳																																											
事業概要	■海フェスタ京都開催事業負担金 1,000千円（実行委員会への市負担金） ・趣旨 京都府北部5市2町が連携して開催することで、「海の京都」の魅力を全国に発信するとともに、質の高い観光の提供を基本コンセプトとし、北部地域のさらなる活性化に繋げる契機とする。 ・期間 平成26年7月19日～8月3日（16日間） ・会場 舞鶴市（メイン会場）、宮津市、福知山市、綾部市、京丹後市、与謝野町、伊根町 ・主催 第11回海フェスタ実行委員会（会長：舞鶴市長） （構成団体） 国土交通省近畿運輸支局、近畿整備局、海上保安庁、京都地方气象台、日本港湾協会、海上自衛隊舞鶴地方総監部、京都府、5市2町の行政、警察署、商工関係、観光協会など約80団体 ・全体予算 80,000千円（舞鶴市30,000千円、京都府30,000千円、市町5,000千円ほか） ・主な事業内容 実行委員会事業 <table><tr><td>記念式典（皇室御成り）</td><td>時期未定</td><td>舞鶴市総合文化会館</td></tr><tr><td>祝賀会（皇室御成り）</td><td>時期未定</td><td>舞鶴市内</td></tr><tr><td>海の総合展（展示、セミナーなど）</td><td>7/19～8/3</td><td>舞鶴赤レンガパーク</td></tr><tr><td>広域観光周遊ツアー</td><td>時期未定</td><td>5市2町</td></tr></table> 広域連携事業 <table><tr><td>船の一般公開や体験乗船</td><td>時期未定</td><td>舞鶴港など</td></tr><tr><td>海の京都グルメフェスタ</td><td>時期未定</td><td>舞鶴市内</td></tr><tr><td>海上自衛隊音楽隊コンサート</td><td>時期未定</td><td>舞鶴市内</td></tr><tr><td>北前船寄港地フォーラム</td><td>7/25、26</td><td>宮津歴史の館</td></tr></table> 各市町事業（宮津市分のみ） <table><tr><td>少年少女ヨット教室</td><td>6月予定</td><td>田井宮津ヨットハーバー</td></tr><tr><td>宮津湾にぎわいイベント</td><td>7/19</td><td>田井宮津ヨットハーバー</td></tr><tr><td>天橋立文珠堂出船祭</td><td>7/24</td><td>天橋立廻旋橋付近</td></tr><tr><td>北前船特別展示会</td><td>7月下旬</td><td>宮津市内</td></tr><tr><td>宮津燈籠流し花火大会</td><td>8/16</td><td>島崎公園付近</td></tr></table>					記念式典（皇室御成り）	時期未定	舞鶴市総合文化会館	祝賀会（皇室御成り）	時期未定	舞鶴市内	海の総合展（展示、セミナーなど）	7/19～8/3	舞鶴赤レンガパーク	広域観光周遊ツアー	時期未定	5市2町	船の一般公開や体験乗船	時期未定	舞鶴港など	海の京都グルメフェスタ	時期未定	舞鶴市内	海上自衛隊音楽隊コンサート	時期未定	舞鶴市内	北前船寄港地フォーラム	7/25、26	宮津歴史の館	少年少女ヨット教室	6月予定	田井宮津ヨットハーバー	宮津湾にぎわいイベント	7/19	田井宮津ヨットハーバー	天橋立文珠堂出船祭	7/24	天橋立廻旋橋付近	北前船特別展示会	7月下旬	宮津市内	宮津燈籠流し花火大会	8/16	島崎公園付近	背景 経 緯	・海フェスタは昭和61年から海の恩恵に感謝する「海の日」本来の意義を再認識し、海の理解を深めるために主要港湾都市で開催。平成15年度に「海フェスタ」と改名し、今回で11回目				
						記念式典（皇室御成り）	時期未定	舞鶴市総合文化会館																																										
						祝賀会（皇室御成り）	時期未定	舞鶴市内																																										
						海の総合展（展示、セミナーなど）	7/19～8/3	舞鶴赤レンガパーク																																										
						広域観光周遊ツアー	時期未定	5市2町																																										
船の一般公開や体験乗船	時期未定	舞鶴港など																																																
海の京都グルメフェスタ	時期未定	舞鶴市内																																																
海上自衛隊音楽隊コンサート	時期未定	舞鶴市内																																																
北前船寄港地フォーラム	7/25、26	宮津歴史の館																																																
少年少女ヨット教室	6月予定	田井宮津ヨットハーバー																																																
宮津湾にぎわいイベント	7/19	田井宮津ヨットハーバー																																																
天橋立文珠堂出船祭	7/24	天橋立廻旋橋付近																																																
北前船特別展示会	7月下旬	宮津市内																																																
宮津燈籠流し花火大会	8/16	島崎公園付近																																																
期待される 効果	・第9回は広島県尾道市他2市。第10回は秋田県男鹿市他2市1町1村で開催																																																	
	・現在、27年度をターゲットイヤーとして、海の京都事業や京都舞鶴港の整備、京都縦貫道全線開通、舞鶴若狭自動車道の整備などが進んでおり、府北部地域への人・ものの流れの増大が予想される。																																																	
【みやづビジョン2011以外の計画】																																																		
<table><tr><td>H25 年度策定</td><td>観光革命アクションプログラム</td><td rowspan="3">計画 期間</td><td>29 年度まで</td></tr><tr><td>年度策定</td><td></td><td>年度まで</td></tr><tr><td>年度策定</td><td></td><td>年度まで</td></tr></table>							H25 年度策定	観光革命アクションプログラム	計画 期間	29 年度まで	年度策定		年度まで	年度策定		年度まで																																		
H25 年度策定	観光革命アクションプログラム	計画 期間	29 年度まで																																															
年度策定			年度まで																																															
年度策定			年度まで																																															
【市民参加の状況】																																																		
【先進性】																																																		
担当室・係		企画総務室 企画係 TEL 45-1601																																																

(単位:千円)

事業名	北前船港町まちづくり事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳									
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源					
ビジョン 基本施策	—	ビジョン 重点戦略	—	4, 500			2, 250			2, 250					
目 的 ・ 目 標	当地に繁栄をもたらした「北前船」をヒントにして、地域再生、にぎわい創出に取組む。 広域による地域間交流や連携を通じ日本海側沿岸地域の振興を図ることを目的とした「北前船寄港地フォーラム」を誘致することにより、寄港地連携の一助となり、ひいては、文化・観光・経済交流の発展に繋げる。					特 定 財 源 の 内 訳									
						府	市町村未来づくり交付金			2, 250					
	(参考) 前年度予算額				1, 800										
事業概要	■北前船寄港地フォーラムの開催 3,500千円<海フェスタ・市制60周年関連>(新規) 平成26年7月25、26日に開催する「北前船寄港地フォーラム」を実施するための実行委員会(平成26年3月立ち上げ)に対する補助金(全体予算4, 500千円) 【「北前船寄港地フォーラムin宮津」の概要(案)】 ○テーマ：つなぐ・結ぶ～北前船からのおくりもの～ ○開催日時：平成26年7月25日、26日 →舞鶴市で海フェスタ開催中、その広域連携事業として実施 ○場所：歴史の館、宮津ロイヤルホテル、北前船関連地 ○主催：北前船寄港地フォーラムin宮津実行委員会(宮津市、北前船まちづくり委員会) ○後援：国土交通省、観光庁、京都府、近隣市町、新聞社ほか ○内容：・フォーラム(1日目)…開会式、パネルディスカッションなど ・レセプション(1日目)…各寄港地関係者との懇親会及び本市のPR ・エクスカーション(2日目)…北前船関連地を紹介 ・その他(2日間、期間限定) 資料調査の成果などの特別展示、各寄港地の物品販売や交流イベント、海フェスタとの連動、歴史の館の期間限定開館など ■北前船の歴史、文化に関する調査研究 1, 000千円 2カ年目。京都府立大学との連携事業として実施 フォーラム後の展開イメージ(北前船港町まちづくり) — ・歴史資料の調査継続及び市民、観光客への普及、P R ・土産物、北前船観光 ・他寄港地との交流連携 ・港町地区等市街地整備 ・宮津港港湾計画に基づく港湾整備 各主体が推進				背 景 ・ 経 緯	・環日本海時代の本格到来を踏まえた新たな宮津再生・活性化の構想を樹立する必要がある。 ・平成26年度海フェスタ開催(舞鶴市)に際し、関連するイベントとして取り上げる。 ・本市における北前船寄港地としての主だった取組は過去行われていない。									
						期待される 効果	・広域による地域間連携 ・歴史・観光・経済交流の発展								
					【みやつビジョン2011以外の計画】										
										H25 年度策定	観光革命アクションプログラム			計 画 期 間	29 年度まで
										年度策定					年度まで
										年度策定					年度まで
										【市民参加の状況】 市民による北前船をテーマとした取組が展開され、機運が高まりつつある。					
										【先進性】					
										担当室・係	企画総務室 企画係		TEL	45-1601	

(単位:千円)

事業名	市制60周年記念式典開催事業 市制60周年記念姉妹友好都市市長招致事業 市制60周年記念支援事業			新規	予 算 額		財 源 内 訳							
	国庫支出金		府支出金				市 債	その他	一般財源					
ビジョン 基本施策	—		ビジョン 重点戦略	—		7,100		特 定 財 源 の 内 訳						
								繰入	まちづくり基金繰入金		4,000			
目 的 ・ 目 標	平成26年6月1日に市制施行60周年を迎えるにあたり、新たな未来“次なる宮津”への第1歩として、市政の飛躍・発展の契機とするため、先人の叡智と努力を未来につなぎ、その誇りと喜びを共に分かち合うこととして、市民の元気な力を合わせて、市制60周年記念事業に取り組む。				（参考）前年度予算額									
事業概要	■市制60周年記念式典 1,500千円 市制施行60周年を記念し、市政の発展に貢献された方を顕彰し、新たな未来“次なる宮津”への第一歩として、市政の飛躍・発展の契機とする。 開催日：平成26年6月1日（日） 会 場：市内ホール 内 容：○開式、市長式辞、市議会議長あいさつ、来賓祝辞（京都府知事）、功労者表彰、閉式 ○市勢要覧要約版の発行 A4 16P オールカラー ■市制60周年記念姉妹友好都市市長招致事業 1,600千円 市制施行60周年を記念し、姉妹・友好提携都市から市長らを招待し、姉妹・友好都市関係の強化及び国際交流の発展を目指す。 日 程：平成26年10月12日～15日 4日間 内 容：○3姉妹友好都市から、市長など2名、計6名を招致 ○歓迎レセプション、国際交流フォーラム、市内観光（和火など） 【宮津市の姉妹友好都市】 ・ネルソン市（ニュージーランド） 昭和51年提携 ・デルレイビーチ市（アメリカ） 昭和52年提携 ・秦皇島市（中国） 昭和62年提携 ■市制60周年各地区自主企画記念事業補助金 2,800千円 住民組織をベースとして地域単位の全市的な記念行事の広がり・気運醸成を図るため、創意工夫の地域起こし又は地域の元気なまちづくりにつながる各地区・地域主体の記念事業に対する支援 ○補助金（定額事業費補助）：補助限度額200千円×14地区（自治連、地域会議、公民館等） ■市制60周年市民自主企画記念事業補助金 1,200千円 市民の元気な力を合わせ、その誇りと喜びを共に分かち合う祝賀記念としていくため、市民（団体）自らが主体的に企画・実施する記念事業に対する支援 ○補助金（事業費補助 補助率2/3）：補助限度額100千円×12団体				背 景 ・ 経 緯	・50周年は、市民・団体で組織した検討会議の提言を受けた「市民主体で取り組む事業」を特別記念事業と位置付け実施 ・55周年は、自治連主体で「ふるさと芸能自慢大会」開催 ・60周年は、地域力の向上を活かし自主企画事業を支援 ※60周年については、自治連幹事会や、各種団体等で構成する有識者意見交換会を実施し協議								
						期待される 効果	・市制60周年記念年の市全体としての気運の醸成 ・地域の魅力・活力の創出、元気なまちづくり ・コミュニティの充実							
					【みやづビジョン2011以外の計画】							計 画 期 間	年度まで	
					年度策定								年度まで	
					年度策定								年度まで	
【市民参加の状況】														
【先進性】														
担当室・係		企画総務室 行政係・秘書広報係		TEL		45-1602 45-1604								

宮津市制60周年記念事業計画

【趣旨】

宮津市は、平成26年6月1日に市制施行60周年を迎えます。人生に例えると“還暦”という大きな節目の年、そして平成26年度は、京都縦貫自動車道の全線開通が実現する記念年でもあり、当地域の大きな転換期、幕開け・起点となる意義深い年でもあります。

この60周年という記念年を、新たな未来“次なる宮津”への第1歩として、市政の飛躍・発展の契機とするため、先人の叡智と努力を未来につなぎ、その誇りと喜びを共に分かち合うこととして、市民の元気な力を合わせて、市制60周年記念事業に取り組みます。

【実施期間】

平成26年度の1年間（事業内容等により、年度前後の期間は柔軟に対応）

【記念事業の構成】

①記念事業（市主体・市民主体・連携推進の記念事業） ②冠記念事業

①記念事業

- (1) 市制60周年記念式典開催（H26.6.1（日））
- (2) 姉妹友好都市招致事業（H26.10月予定、3市から各市長等招致）
- (3) 市勢概要ミニパンフの発行（記念式典・PR用1,000部）
- (4) 北前船寄港地フォーラムin宮津の開催（H26.7.25～7.26）
（宮津の北前船遺産の特別講演・研究発表、エキスカーション）
- (5) みやづ福祉・健康フェスタ（天橋立ツーデーウォークと同時開催）
（ツーデーウォークに加え福祉・健康に関わる催しで充実展開）
- (6) 市民主体による企画記念事業の展開
 - ①宮津市制60周年 各地区自主企画記念事業補助金による支援実施
各地区（地区自治連のエリア）での事業実施に支援
 - ②宮津市制60周年 市民自主企画記念事業補助金による支援実施
団体等が行う拡充又は新規事業を支援
- (7) 宮津の再生を担う推進組織（会議）の設置・推進
 - 農商工親連携会議 ○観光プラットフォーム
 - まちづくり会議 ○医療・介護・福祉ネットワーク会議

②冠記念事業

市・団体等が行う既存事業又は新規事業等に「宮津市制60周年記念」の冠をつけて、周年記念の意義付け・気運の盛上げを行う。

- 宮津燈籠流し花火大会
- 城下町宮津七万石“和火”
- 天橋立ツーデーウォーク
- 宮津湾にぎわいフェスタ
- bjリーグ京都ハンナリーズホームゲームin宮津
- 市民文化祭（音楽祭・芸能祭・美術展）
- ヨット競技OP級関西選手権大会
- 落語 桂塩鯛・米團治二人会
- NHKジュニアスポーツ教室
- その他各種文化・スポーツ事業など

□市制60周年 記念事業－関連事業一覧		(単位:千円)
事業名	予算額	事業概要
市制60周年記念式典開催事業	1,500	平成26年6月1日の市制記念日における記念式典開催及び式典等で配布する市勢概要ミニパンフの作成
市制60周年記念姉妹友好都市市長招致事業	1,600	市制60周年を記念し、姉妹・友好提携都市から市長等関係者を招待し、姉妹・友好都市関係の強化及び国際交流活動の促進
北前船港町まちづくり事業	4,500	北前船寄港地の繁栄をヒントに広域による地域間交流や連携を通じて日本海沿岸地域の振興を図ることを目的とした「北前船寄港地フォーラム」を、市制60周年記念年に、本市に誘致し開催
天橋立健康ウォーク開催補助事業	2,500	天橋立ツーデーウォークと同時開催として「みやづ福祉・健康フェスタ」を開催
市制60周年記念支援事業	4,000	市制60周年を記念し、市民(団体)・各地区が主体となって実施する自主記念事業を支援